

絆 求 め て

7月9日発行

文責 私学振興専門員 久保田学



主任・学年主任研修を実施しました！

令和3年6月5日(土)、武蔵野東第一・第二幼稚園長 加藤 篤彦先生を講師としてお迎えし、主任・学年主任研修をWEBで実施しました。テーマは、「保育の質を高める組織マネジメント」で、①Society5.0において育むべき子ども達の資質・能力 ②園内研修について ③保育の質を高める組織マネジメントの基本的な考え方 ④社会に開かれた教育課程 などについてお話いただきました。先生からお話をお聴きした後に、Zoomのブレイクアウトルーム機能を活用し、グループでの意見交換・情報交換の時間をもちました。日頃の実践や保育で悩んでいることや疑問に感じていることなど、様々な内容についてリアル研修に近い感覚で話し合う場となりました。また、講師の加藤先生にもグループにお入りいただき、様々なアドバイスをいただきました。

<研修から学んだこと>

- …保育の“見える化”をすること＝園内研修の重要性。研修をすることは目的ではない。「なりたい園になるため」の取り組みとしての園内研修だということ。実践を外部講師にみてもらうなどの下準備も大切であり、さらに効果を上げるためには、常に“これでいいのかな？”と自分に問うことが大事だということ。持続可能な社会の担い手を育てるための6つの視点(1.多様性 2.相互性 3.有限性 4.公平性 5.連携性 6.責任性)を常に意識して、専門性が高く、同僚性の高い幼稚園を目指していきたい。
- 加藤先生の「教科書のない幼稚園だからこそ出来る事がある」という言葉がとても納得できました。カリキュラムに追われることなく、今子どもたちが夢中になっていることをとことんまで活動できる環境を大切にしていきたいと思いました。そんな活動を通して、自主性、主体性が自然と身についていくことを改めて感じる事が出来ました。

<今後の保育実践に生かしたいこと>

- 加藤先生が話された「我が事として考える」という言葉、とても心に残りました。園内研修について、写真を撮り、その一人一人の姿から何が育っているのかを、みんなで自分の事として考えるということはすぐに出来るように感じたので、やってみたいと思います。何か心配な姿があったからではなく、定期的みんなでき意見を話し合い、職員間でも育ちあっている共同体になっていけるよう、まずは私自身が職員とコミュニケーションをとり、環境を整えていきたいと思います。
- 子どもたちの姿を語れるようになるには、まずは目の前にいる子どもたちをよく見ること、心の動きも読み取りながら保育にあたっていきたいと思います。また、保護者の方に向けて子どもたちの育ちを伝えていく時にも、しっかりと見取った上で、わかりやすく、そして今後の育ちにつながるような伝え方ができるように努力していきたいと思いました。
- 子どもたちの姿を語れるようになるには、まずは目の前にいる子どもたちをよく見ること、心の動きも読み取りながら保育にあたっていきたいと思います。

「講師の加藤先生よりお言葉をいただきました」

…レポートを拝読し、県の先生方の熱心な姿勢がとても良く伝わってまいりました。ありがたいことですし、素晴らしいですね。今後とも幼児教育の深化や普及のため私も尽くします。ありがとうございました。